

2020年6月19日

## 新型コロナウイルスがもたらした健康への気になる影響

**不要不急ではない！？ 必要な通院の自粛が2割も  
一方で体調の自己管理意識は高まり、  
自己管理ツールへの関心・利用は6割に**

『血糖トレンド委員会』（代表世話人：東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科 主任教授 西村理明 以下、当委員会）は、新型コロナウイルス感染拡大が、感染者のみならず、全国的な外出自粛などに伴い多くの人に影響を及ぼしたことを踏まえ、日常的に医療を必要としている、日本に1,500万人いるともいわれる、生活習慣病患者さんにどのような影響を与えたのかを分析するため、調査を実施しました。

本調査は、生活習慣病患者 309 名（内訳：高血圧 103 名、2 型糖尿病 103 名、高脂血症 103 名）を対象に、2020 年 6 月 8 日～9 日にかけてオンラインにて実施したものです。

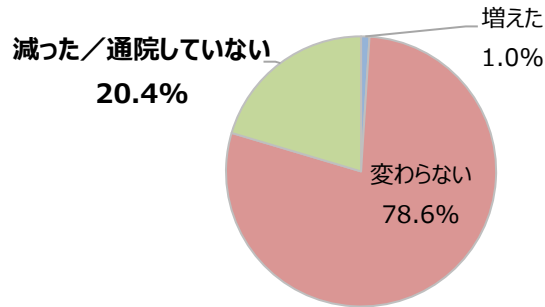
## 【主な調査結果】

- 定期的な通院を必要とする生活習慣病患者さんの **20.4%がコロナ感染予防を理由に通院を自粛。**  
患者さんの **44.9%は今後の通院も未だに不安。**
- 外出自粛で変わった生活習慣。**58.6%の患者さんが体調管理への意識が向上。**
- 生活習慣病患者さんの **49.8%が自己管理ツールに関心。**  
**60代でも7%がツールを利用、49%が関心あり。**

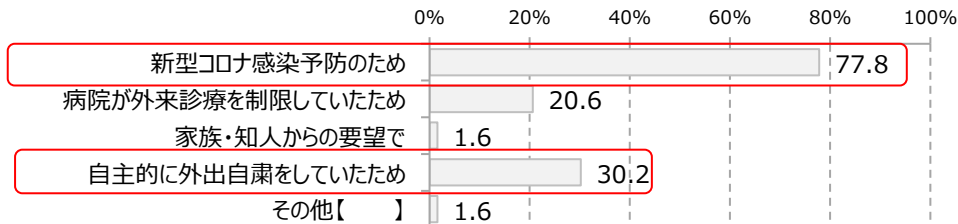
## 1：定期通院が必要な生活習慣病患者さん、必要な通院もコロナ予防で自粛

生活習慣病患者さんは定期的に通院し医師の診察を受ける必要があります。しかし、新型コロナウイルスの感染流行後には、生活習慣病患者さんの**2割が通院を自粛**していたことが分かりました。**8割が新型コロナウイルスの感染予防を、3割が自主的な外出自粛**を理由と回答し、通院に対する患者さんの不安が伺えます。

新型コロナウイルスの流行が始まってから、普段の通院回数に変化はありましたか。  
※新型コロナウイルスに関連しての病院利用は除いてお答えください (n=309)



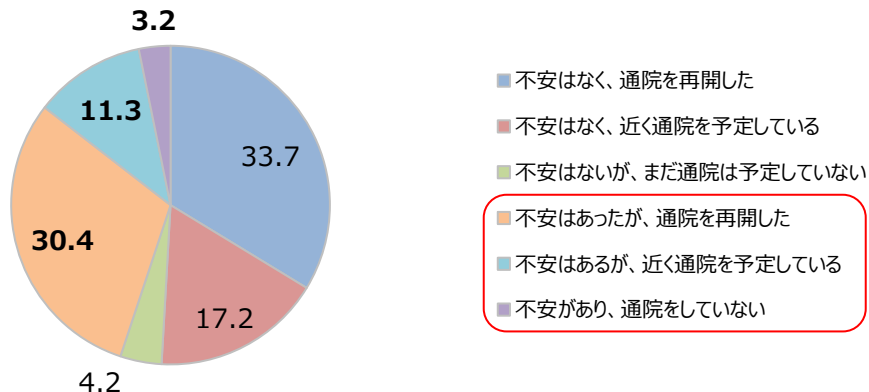
通院が減った理由、通院しなかった理由について、当てはまるものをすべて選択してください  
(n=63)



また**約5割の患者さんが今後の通院についても不安**を感じており、その理由の9割は病院や薬局での新型コロナウイルスへの感染でした。新型コロナウイルス感染の重症化リスクとして糖尿病などが指摘されていることもあり、流行が収まりつつある現在でも、患者さんの不安が続いている現状が明らかになりました。

緊急事態宣言が解除されてからの通院状況について回答してください。

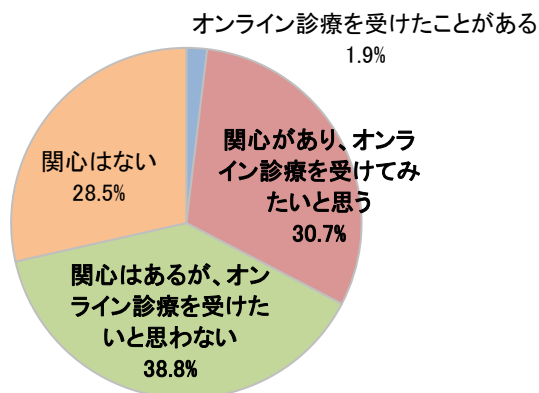
※インターネット、TV電話などを使って診療を受けるオンライン診療も通院に含みます (n=309)



また今年大きく規制が緩和された「オンライン診療」については、**7割の患者さんが関心がある**と回答したものの、**実際に受けてみたいと思うと回答したのは3割**であり、関心がある層においても受診に関する見解は二分しました。オンライン診療でクリニックと同程度の診察が受けられるのが不安要因になっているようです。

オンライン診療に関心がありますか。(n=309)

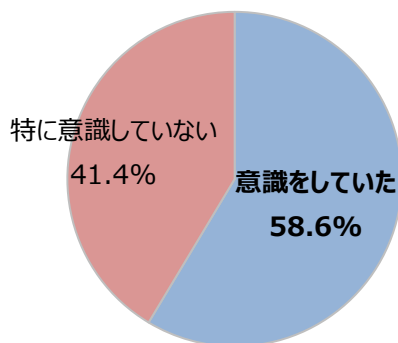
※オンライン診療とはインターネットなどの通信技術を活用して、病院に行かずに診療を受ける事です。自宅にいながら診療を受けることなど、一部の病院で実際に行われています。



## 2 : 外出自粛で変わった生活習慣。6割で体調管理について意識向上

生活習慣病を抱える患者さんは日ごろから、食事や運動などの体調管理を求められていますが、今回の新型コロナウイルス感染によって、その意識は高まっていたようです。調査では、**約6割の患者さんが普段よりも自分の体調管理を意識した**と回答していました。

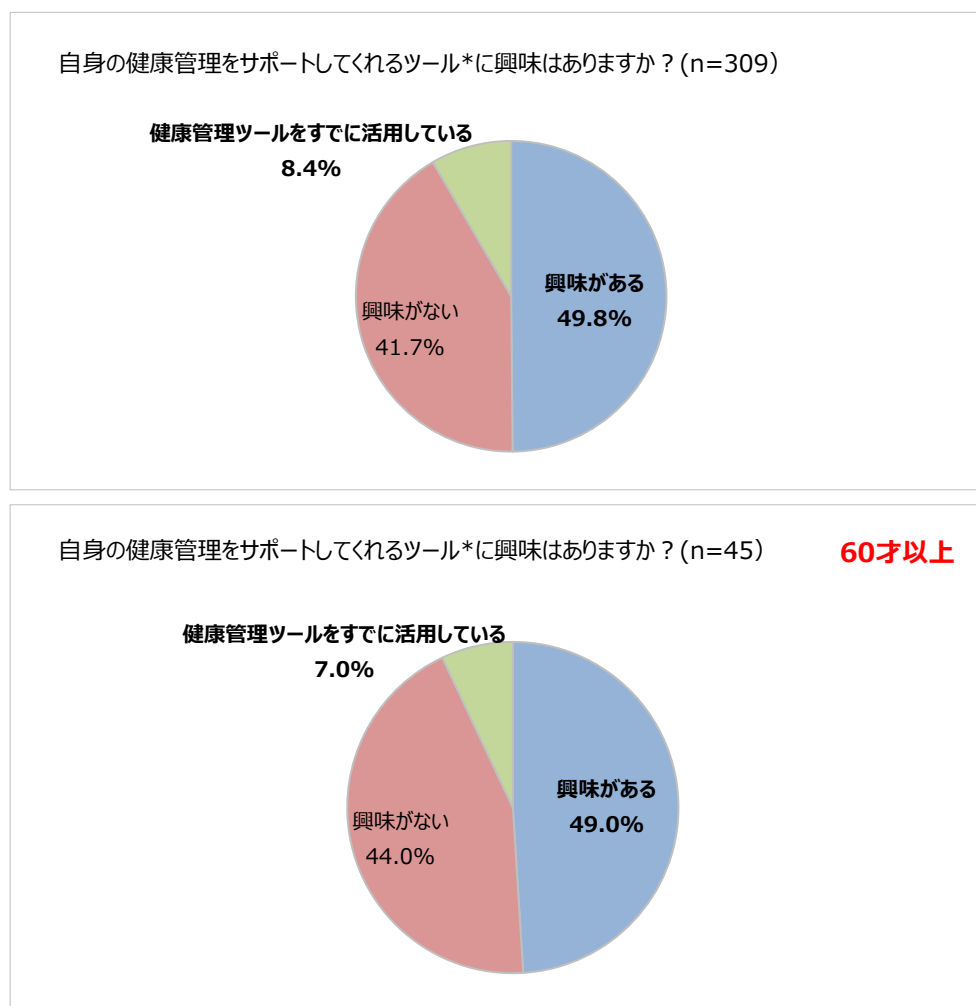
自粛期間中、普段よりもご自身の体調管理を意識していたか。(n=309)



### 3 : 5割の患者さんが自己管理ツールに関心。60代でもツールを利用

また自己管理をサポートするツールについても、5割が興味があると回答し、自己管理への意識の高まりが伺えます。これらのツールで最も注目を集めていたのは、スマートウォッチや、スマートフォンのアプリでした。

また従来、こういったツールは若年層向けと考えられてきましたが、60才以上であっても、同様に5割がツールの利用に関心を持ち、また約1割が既にツールを利用していると回答しました。60代におけるスマートフォンの利用率が向上したこともあり、今後は年代を問わずこのようなツールが活用されていく可能性があります。



\*体調管理が出来るスマートフォンのアプリ、身につけて血圧や心拍数などの情報がわかる機器など

今回の調査では、糖尿病をはじめとする生活習慣病の患者さんたちがコロナ感染への不安を抱えながらも、コロナ禍において前向きに体調管理に取り組んでいたことが明らかとなりました。血糖トレンド委員会では、これからも、糖尿病患者さんに寄り添い、より良い血糖コントロールを支援すべく、情報発信を行っていきます。

<調査概要>

- ・調査名：新型コロナ流行による生活習慣病患者への影響に関する調査
- ・調査期間：2020年06月08日(月)～2020年06月09日(火)
- ・調査方法：インターネット調査
- ・調査対象：生活習慣病患者 309名（内訳：高血圧 103名、2型糖尿病103名、高脂血症 103名）
- ・実施期間：株式会社マクロミル

血糖トレンド委員会とは

血糖トレンド委員会は、血糖コントロールの重要性、および「血糖トレンド」の概念とその活用方法について、医学的、学術的および患者さん視点で分かりやすく正確な情報発信を行うこと目的とした委員会です。医師と患者さんが構成メンバーとなり、血糖トレンドや血糖コントロールに関する正しい情報を、糖尿病患者さん及び糖尿病予備群の方などに向けて、患者さん視点で分かりやすく発信していきます。

血糖トレンド委員会ホームページ：<https://kettotrend.com/>

**問い合わせ先:**

血糖トレンド委員会事務局

03-5561-2915

kettotrend@cosmopr.co.jp

担当：鈴木・長澤・大屋